

## 公治長第五

子曰、已矣乎。  
 吾未見能見其過、  
 而内自訟者也。

し い 子 曰 わ く、 已 ん ぬ る かな。  
 わ れ い ま よ そ あ や ま ち み  
 吾 未 だ 能 く 其 の 過 を 見 て、  
 う ち み ず か せ も の み  
 内 に 自 ら 訟 む る 者 を 見 ざ る な り。

(5-119)

<子曰わく、已んぬるかな>

Q：「子曰わく、已んぬるかな」とは何ですか。

A：(1)「孔子が言った。世も末じゃ」の意。

(2)「ああ、なんとも仕方のないことで、もうだめだなあ」の意。

<吾未だ能く其の過を見て、内に自ら訟むる者を見ざるなり>

Q：「吾未だ能く其の過を見て、内に自ら訟むる者を見ざるなり」とは何ですか。

A：(1)「自分の過失を自覚して、しかも、自分の心の中で、自分をせめる者を、見たことがないのだ」の意。

(2)「わしはまだ、自分でよく自分の過ちを発見して、自分の心の中で自分を責めているような、自責の念の強い人を見たことがないなあ」の意。

2011年6月16日林明夫記